



崇高な進歩へ — 自分を律し、他者への共感を育む  
より良い選択 & より良さを追求

第2学年主任 佐藤 輝和

# こころ 夢を語り 合いながら M I G A K I

— 当たり前の徹底(凡事徹底) — 有り難さの追求 —

< 西フェスの掲載記事紹介 >

昭和22年5月12日第三種郵便物認可 (日刊) 大崎タイムス 2022年(令和4年)10月21日(金曜日)

## 大崎タイムス

発行所  
〒989-0102  
大崎市古川駅前大通り丁目3番23号  
大崎タイムス社  
http://www.osakitime.com

### 最後の体育行事に奮闘

#### 古川西中 保護者、地区民と共に

来春、4小学校と統合して大崎市初の義務教育学校として生まれ変わる古川西中(笹川清治校長、生徒数127人)で15日、体育行事「西中フェスティバル(体育的)」が開かれた。校庭で行われた競技には生徒のほか、保護者、地区民も参加して共に汗を流し、最後となるイベントを胸に刻んだ。

#### 統合する学区の住民も応援

同校は来年4月、東大崎小、志田小、西古川小、高倉小と統合し、古川西中の場所に「古川西中学校」として開校する。そのためフェスティバルも今回が最後で、小学校校舎の建設が進む校庭には保護者も東大崎、志田、西古川、高倉地区の住



全員で息を合わせた長なわ跳び

復興へ!  
がんばろう  
みやぎ

保護者の皆さま、御家族の皆さま  
ご協力ありがとうございました  
生徒の皆さんの「熱盛」ステキでしたよ

では息の合った動きで10回以上の連続ジャンプを披露し、見守る人たちから歓声が上がった。



保護者と一緒に三脚

民も訪れ、生徒たちの奮闘を応援した。プログラムは団体競艇引きや騎馬戦などに、チーム全員で力を合わせて奮闘。長縄跳

びでは息の合った動きで10回以上の連続ジャンプを披露し、見守る人たちから歓声が上がった。

ん15宅では家族全員「ばいばい」話していた。が見に来たという「祖父」は「地域の人がたでアンカーを務めた1年生の鈴木小春さん」にきやか楽しい。小(12)は「来年は小学校と統合する来年はのみんなを協力し、今回以上に楽しい運動会

